

「社会保障の解体は許さない！介護保険制度の抜本改善を！！」
STOP！介護改悪 介護ウェーブ2015推進ニュース
-介護の“Big Wave”を広げよう！-



秋の介護をよくするアクションウィーク (11月7日～14日)

青森 「いい介護の日」介護ウェーブ

10月25日(日)、風も強く寒い中、「介護現場の大変さ、利用者の大変さをアピールしよう」をテーマに、青森民医連と青森県医労連との共闘で「いい介護の日・介護ウェーブ」が行われました。11時からアウガ前で行われ**日曜日にも関わらず、60人が参加してくれました。**

八戸・弘前・青森のそれぞれの介護事業所に一言シールを配り、アピール文を書いてもらいました。シールを模造紙に貼り付け、道行く人に立ち寄ってみて欲しいと願いました。

当日は風が強く、横断幕が何回も破け、ガムテープで補強し続け、1時間のウェーブを終了しました。全体で64筆の署名を集めることができました。

ウェーブ後の講演会では、全日本民医連介護・福祉部員・井田智氏による「介護職に期待するもの」～介護職の組織づくり～をテーマにお話していただきました。

認知症高齢者のケアの実践、民医連介護職の組織化の現状や介護保険制度改悪と介護職員に求められるものについてお話いただき、最後には私たち介護現場で働くものの原点ともいえる利用者が求めるケアについて映像を通して教えていただきました。涙が止まりませんでした。

私たちを取り巻く状況はこの日の天気のように厳しいですが、皆さんの情熱で支え合いながら頑張っていきましょう。

副田 幸子 (県連高齢福祉委員会)



福井 さあ、手をつないで声を出そう！！福井の介護魂でBigウェーブを！！

街頭署名行動7Days 職員116名参加！ 署名460筆！
自治体交渉で、特定事業所集中減算は利用希望者があれば
減算対象から外れることを認めさせる！

あったかカイロを配布！↓



福井市にて11月10日、11日の2日間、敦賀市にて11月9日～13日の5日間、合計7 (seven) Daysの行動を行い、介護従事者延べ115人(福井65人、敦賀51人)、署名460筆(福井220筆、敦賀240筆)を集め、地域の方々に介護情勢や介護職員の訴えを伝えていきました。寒い中、チラシ付きのカイロを手渡し「**介護職員のこころはこのカイロのようにみんな暖かいです**」と笑顔で行動しました。地域からは「是非がんばってください」、「私たちが介護が必要となった時、介護職員が足りないと困ります」など温かい言葉もいただき、参加職員もカイロはありませんが、温かい気持ちになって行動に参加できました！！



特定事業所集中減算について県と交渉!

11月18日、特定事業所集中

減算について県と自治体交渉を行いました。県連事務局長、介護福祉部長、訪問看護管理者、ケアマネ管理者が参加し、「正当な理由」について、私たちの利用者本位の要望を訴え、福井県の見解を聞きました。

結果、正当な理由として「利用者が希望すれば、質の高い事業所と見なし減算から外れる」ことを今回の交渉があって獲得できました。 (福井/介護ウェーブ運動ニュース 2015年11月19日より)



福島 誰もが安心して老後を迎えられるように!

11月14日、わたり福祉会では、福島駅前にて「介護ウェーブ」を実施し、介護保険制度の改悪中止を求める署名の呼びかけを行いました。11月11日の介護の日に合わせてのもので、今年で7回目になります。

当日の天候は雨でしたが、56名の役職員が参加しました。マイクで

交代で街行く人に訴え、チラシを渡しながら署名を呼びかけました。**事前に署名の内容について学習したこともあり、若手の職員も積極的に通行人の方一人ひとりに自分の言葉で声をかけていました。**

特に要支援者の切り捨て、利用料の2割負担、特養入所者の制限といった改定に伴い、「利用料が増えるのは困る」、「自分が介護してもらえないかもしれないから」、「知り合いが介護をしているから良く分かるので」と多くの方が足を止めて署名をしてくださり、関心の高さがうかがえました。

当日は、福島県議会選挙戦の最終盤。福島市民の今後の県政への関心もあってか、1時間弱の短時間の取り組みだったものの123筆の署名を集めることができました。

今後も、誰もが安心して老後を迎えるために、あって良かったと思える介護保険制度となるような活動を続けていきたいと思います。(わたり福祉会社保委員会 大内敬史)



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：吉澤・諷佐(すさ)
☎03-5842-6451/fax03-5842-6460
E-mail: min-kaigo@min-iren.gr.jp